

土曜日の教育活動推進プロジェクト

富岡文部科学大臣政務官による土曜日学習会（第2回）



土曜学習会で教壇に立つ富岡政務官

7月12日(土)、富岡文部科学大臣政務官が宜野湾市立宜野湾中学校で教壇に立ち、市内4校から集まった中学生39人を前に、iPS細胞など再生医療をテーマとした土曜日学習会を行いました。

文部科学省では、官民の連携による土曜日教育ボランティア運動など、「土曜日の教育活動推進プロジェクト」を推進しており、これまで、下村大臣をはじめ、副大臣、政務官が小学校や中学校で学習会を実施しています。富岡政務官は長崎県対馬市での学習会に続き、2回目の開催となりました。

医学博士でもある富岡政務官は、生徒たちが分かりやすいように、イラストや写真、映像を交えながら、再生医療の最前線について伝えました。

また、生徒からの「細胞の培養は具体的にどうするの?」「髪の毛は再生する?」「クローン人間はできるの?」などの質問に、生命倫理の大切さに触れながら答えました。

学習会の最後に「再生医療で、今まで治せなかった病気が治せるようになるかもしれない。先人の研究者の思いを受け継いで、君たちの力でこの技術を育ててほしい」と生徒たちに語りかけました。



地域の指導者による空手の練習風景



学校・地域の方々と意見交換会

学習会終了後、富岡政務官は、地域の指導者による空手の練習風景を視察し、宜野湾中学校と学校を支える地域の方々、宮崎衆議院議員及び沖縄県教育委員会、宜野湾市長、宜野湾市教育委員会の関係者が参加する意見交換会に出席しました。

これまでの地域が学校を支える取組と現状についての説明を受け、参加者からは、「地域の拠点となる公民館に子供たちが集まれるように取り組んでいきたい」「子供たちの顔を覚え、普段からあいさつ、声かけをできる関係を作ることが大事。」などの発言があるなど、熱心な意見交換が行われました。

なお、今回の沖縄訪問では、土曜日学習会のほか、沖縄科学技術大学院大学、国立劇場おきなわを視察し、関係者との意見交換を行いました。

土曜日の教育活動推進プロジェクト

地域や企業の協力を得て、子供たちの土曜日の豊かな教育環境の実現に向けた取組を推進するプロジェクト(平成25年11月発表)。

- ①設置者の判断により、土曜授業を行うことが可能であることをより明確化するため、学校教育法施行規則を一部改正
- ②官民連携により、多様な賛同企業・団体の協力による応援団を組織して、出前授業等を行っていく「土曜日教育ボランティア運動」を推進
- ③学校における質の高い土曜授業の推進のための「土曜授業推進事業」や、地域社会や産業界と連携した土曜日の教育活動の充実のための「地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業」を平成26年度より新たに実施。

□土曜日の教育活動推進プロジェクトについて → http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doyou/index.htm

□学校・家庭・地域の連携について → <http://manabi-mirai.mext.go.jp/>

